

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>≪委託研究Ⅰ≫</p> <p>【葛飾区立双葉中学校】</p> <p>・学習指導に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>【葛飾区立双葉中学校】</p> <p>中国、韓国の生徒が減少し、非漢字圏のネパール、フィリピン、インドといった生徒の入学が増加しつつあり、国籍が多様化している。また、年齢層も16歳から82歳と幅広い。各生徒の日本語の習得状況と各教科の習得状況を考慮に入れてクラス編制を行っているが、クラス内においてさえ生徒の学力の差は大きい。とくに、日本語の習得状況には著しい差があり、日本語の意味を理解させることに膨大な時間を要し、授業に支障を来すことも多い</p> <p>また、日本の伝統・文化教育を通して日本に関する理解を深めさせることは、日本語指導を一層充実させることにつながる。</p> <p>以上のことを踏まえ、日本語の授業や教科の授業における個別指導の充実に向けて調査研究を行う。</p>
調査研究の成果	<p>【葛飾区立双葉中学校】</p> <p>1 日本語指導・教科指導の工夫・改善</p> <p>○第1回授業見学週間では、各教員が互いの授業を見せ合うことにより、他者の授業の優れている指導法を学んだり、自己の授業を振り返ったりする契機とした。</p> <p>○自己の授業の振り返り等を通して各教科の年間指導計画に修正を施し、生徒の実態に即した授業の展開を考察した。</p> <p>○第2回授業見学週間では、第1回の見学内容をもとに各教員が授業改善に取り組んだ成果を実践した。</p> <p>○1月には、実践報告レポート「個に応じたきめ細かい指導の工夫」を各教員が作成し、2月の第2回校内研修会でそれをもとに報告会を行い、それぞれの取組について意見交換を行い、授業改善に活かす機会とした。</p> <p>2 進路指導</p> <p>○第1回校内研修会で講師として川上郁雄子氏を招聘し、「移動する子どもたちの言葉の学びを支える」についての講話を受け、</p>

外国籍生徒の日本語指導について理解を深めた。

### 3 日本の伝統・文化教育の推進

○第1回日本の伝統・文化理解教育で講師として多々井春美氏を招聘し、「浴衣着付教室」を開催し、生徒の知識・理解・技能を促進した。